

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I 平成29年度重点課題

1 安全就業の徹底

センター事業の根幹である「安全はすべてに優先する」を全会員が認識し、会員一人ひとりに安全意識の浸透を図り、「危険予知」「私は事故を起こさない」を実践するために次の事業を行った。

安全の詳細については、II 事業実施報告 6 その他事業 (1) 安全就業対策の推進で詳しく述べるが、就業する会員505名に対し会員が毎月、自己管理できる「安全管理チェック表」を配布、その内容を半期ごとに確認できる体制を確立し安全意識の高揚に努めた。

2 新就業体系への対応

今年度より新たに会員の就業の場を確保するために「介護予防・生活支援総合事業」並びに「労働者派遣事業」に参入し、事業所を開設した。

「介護予防・生活支援総合事業」については、この事業に対応するため家事援助班を再編成した。また、市主催による「生活支援サービス従事者養成研修」を10名の会員が受講した。実績については、契約数3件、2名の会員が従事した。

「労働者派遣事業」については、理事による派遣事業を含めた就業開拓を行った。また、派遣登録会員に対し事業の説明を行い、実績については、契約数1件、3名の会員が従事した。

3 職群班の再構築とミスマッチの解消

職群班の再構築については、手始めに正副会長・事務局長と植木班が会議を重ね、「自主・自立」に向けた職群班の在り方を検討した。また、研修委員会が学校施設管理合同職群班会議を開催し、職群班設置要綱を資料に職群班の在り方を研修した。

現在、植木・襖・毛筆筆耕に従事する就業会員の減少に伴うミスマッチが就業において課題となっている。この解消に向けて(公財)東京しごと財団と共催し市民向け体験講習を実施し会員の確保に努めた。また、入会説明会においてもこれらの職種の会員の積極的な募集に努め、植木作業については会員の増員にも成功した。ミスマッチの解消には至らなかったが就業実績は伸ばし一定の成果を上げた。

一方では襖・障子・網戸の張替えに就業している会員が自ら講師となり新規就業希望会員に対し育成を図った。

職群班組織の再構築とミスマッチの解消については引き続き検討を行うこととする。

II 事業実施報告

1 情報の収集及び提供

あきる野市産業祭等に参加し、当センターの事業内容・活動状況を市民に提供する

とともに、地区ごとの清掃ボランティア活動を実施し、情報の収集及び提供を図った。

- (1) 会報「あきる野」を2回発行し、町内会・自治会等を通じ回覧し、センター事業に関する情報の提供を行った。
- (2) あきる野市産業祭に参加しセンター事業に関する情報の収集及び提供を行った。
- (3) 市の協力を得て「市広報」に補習教室、パソコン教室、刃物研ぎ等の事業を掲載し、広く市民に情報の提供を行った。
- (4) センター事業に関する（公財）東京しごと財団（以下財団という。）の各種会議に参加。また、財団発行の「シルバーとうきょう」、（公社）全国シルバー人材センター事業協会発行の「月間シルバー人材センター」等を通じて情報の収集に努めた。

2 調査研究

就業機会の開拓・拡大のため、会員及び高齢者の就業に係る調査研究を次のように行った。

- (1) 毎月の理事会において会員の入退会状況及び就業実績を分析し、今後の運営の検討を行った。
- (2) 魅力あるシルバー人材センターの構築のため660名の会員に対しアンケート調査を実施536名の回答を得、その内容を分析・調査し検討を行った。
- (3) 請求書発行時に発注者に対しアンケート調査を実施（別添掲載）、その内容を分析・調査し、今後の検討を行った。

3 就業に関する相談

随時、窓口・電話対応にて市民に対し就業相談等を受け付け、会員の登録を希望する高齢者に対しては、月1回の会員入会説明会を実施した。

また、毎月第2、第4月曜日には会員に対し就業相談日を設け、随時相談を受け付けた。

4 就業機会の開拓及び提供

希望と能力に応じた就業機会の開拓と提供を図るため、官公庁・企業、事業所及び一般家庭に対し高齢者就業の理解を求め、就業機会の開拓及び提供を積極的に行った。

(1) 開拓について

開拓については、会報「あきる野」、チラシ等を町内会・自治会に回覧し就業機会の開拓に努めた。また、就業開拓委員会が中心となり理事が、あきる野市の73社の事業所等を訪問し就業機会の開拓を図った。

あきる野市に対しては正副会長、常務理事（事務局長）により、あきる野市長に面談し、シルバー事業に対するより一層の理解と協力をお願いし、公共事業の新規就業の開拓に努めた。

(2) 就業の提供について

提供については、就業会員の増員を図るためローテーション制を促進。分かち合いによる公共継続就業の交代、増員を積極的に行い未就業会員に対しての就業機会の提供に努めた。

(実績)

	年度末 会員数	就 業 実人員	就 業 率	受注件数	延日人員 (月平均)	契約金額 (単位：円)
29年度	665	616	92.6%	2,932	62,775 (5,231)	292,391,935
28年度	674	624	92.6%	2,945	61,664 (5,138)	280,957,302
増 減	△9	△8	0	△13	1,111	11,434,633
増減率	△1.3%	△1.3%	0%	△0.4%	1.8%	4.1%

※平成29年度派遣事業実績（参考）

	受注 件数	実人員	延日人員	賃 金	派遣手数料 (消費 税含む)	(内セン ター派遣 手数料)	合 計
29年度	1	3	105	404,760	141,050	56,605	545,810

5 研修・講習

(1) 事業関係研修・講習（財団・安全講習会含む）

研修内容（講師）	対 象 者	開 催 日	場 所	参加人数
小学校児童通学案内 研修（福生警察）	小学校児童通学 案内就業会員	平成29年4月3日（月）	センター2階会議室	56名
植木剪定墜落安全研修 （東京しごと財団）	安全管理委員	平成29年4月4日（火）	（公財）東京しごと財団	2名
草刈研修① （内部講師）	草刈使用会員	平成29年5月23日（火）	センター2階会議室 グリーン運動場	35名
草刈研修② （内部講師）	草刈使用会員	平成29年5月30日（火）	センター2階会議室 グリーン運動場	36名
自転車安全講習会 （福生警察署）	就業途上に自転車を 使用している会員	平成29年7月21日（金）	センター2階会議室	25名
自動車安全運転講習会 （福生警察署）	就業において自動車 を運転する会員	平成29年8月29日（火）	センター2階会議室	25名
毛筆筆耕体験講習 〔東京しごと財団 専門講師〕	一 般 市 民 （60歳以上）	平成29年9月13日（水）	センター2階会議室	20名
自動車安全運転講習 （東京しごと財団）	自動車使用運転会員	平成29年9月26日（火）	飛鳥ドライビング スクール日野校	1名

接 遇 研 修 (アップグロース)	公共関係従事会員 新入会員	平成 29 年 10 月 16 日 (月)	中央公民館	30 名
障子張り替え体験講習 〔東京しごと財団〕 〔専門講師〕	一 般 市 民 (60 歳以上)	平成 29 年 11 月 9 日 (木)	センター2 階会議室	12 名
転倒予防研修 (東京しごと財団)	職群班長	平成 29 年 11 月 28 日 (火)	センター2 階会議室	23 名
就業支援講習賞状書き (東京しごと財団)	筆耕希望会員	平成 29 年 12 月 1 日から 22 日までの内 12 日間	(公財)東京しごと財団	2 名
襖張り替え講習 (東京しごと財団)	襖張り従事会員	平成 30 年 3 月 13 日から 15 日 (3 日間)	(公財)東京しごと財団	1 名

(2) 会員研修

研修内容(講師)	対 象 者	開 催 日	場 所	参加人数
フォローアップ研修 (三役・担当理事)	新 入 会 員	平成 29 年 4 月 13 日 (木)	センター2 階会議室	16 名
		平成 29 年 6 月 8 日 (木)		13 名
		平成 29 年 8 月 10 日 (木)		16 名
		平成 29 年 10 月 12 日 (木)		15 名
		平成 29 年 12 月 14 日 (木)		6 名
		平成 30 年 2 月 8 日 (木)		7 名
地区研修 「楽しく運動を続ける ことで転倒を予防しよ う」	第 1 地区会員	平成 29 年 5 月 21 日 (日)	中央公民館音楽室	58 名
	第 2 地区会員	平成 29 年 5 月 24 日 (水)	センター2 階会議室	40 名
	第 3 地区会員	平成 29 年 5 月 14 日 (日)	油平クラブハウス	35 名
	第 4 地区会員	平成 29 年 5 月 21 日 (日)	中央公民館第 7 研修室	29 名
地区研修 「介護予防について」	第 5 地区会員	平成 29 年 5 月 14 日 (日)	五日市ファインプラザ	33 名
	第 6 地区会員	平成 29 年 5 月 20 日 (土)	五日市交流センター	29 名

(3) 役員研修等

研修内容(講師)	対 象 者	開 催 日	場 所	参加人数
新任安全管理委員勉強会 (東京しごと財団)	安全管理委員	平成 29 年 7 月 7 日 (金)	国分寺労政会館	1 名
安全リーダー研修 (東京しごと財団)	安全管理委員	平成 29 年 7 月 28 日 (金)	国分寺労政会館	1 名
就業開拓勉強会 (東京しごと財団)	就業開拓委員	平成 29 年 9 月 15 日 (金)	国分寺労政会館	2 名
安 全 大 会 (東京しごと財団)	安全管理委員 安全標語表彰者	平成 29 年 9 月 29 日 (金)	(公財)東京しごと財団	4 名

シルバー人材センター フォーラム	理事	平成 29 年 11 月 7 日 (火)	(公財)東京しごと財団	3 名
転倒予防勉強会 (東京しごと財団)	安全管理委員	平成 30 年 2 月 14 日 (水)	国分寺労政会館	2 名
会長会議	副会長	平成 30 年 3 月 9 日 (金)	(公財)東京しごと財団	1 名

(4) 6ブロック関係研修会

研修・会議内容	対象者	開催日	場所	参加人数
第 6 ブロック安全就業 研修会 (危険予知)	安全管理委員	平成 29 年 9 月 8 日 (金)	(公社)立川市シルバー 人材センター	3 名
第 6 ブロック三役研修 会 (危険予知)	会長・副会長・常務 理事	平成 30 年 2 月 8 日 (木)	(公社)立川市シルバー 人材センター	3 名

6 その他事業

(1) 安全就業対策の推進

重点課題にもあるように、センター事業の根幹である「安全はすべてに優先する」を全会員が認識し、会員一人ひとりに安全意識の浸透を図り、「危険予知」「私は事故を起こさない」を実践するために次の事業を行った。

- ① 安全管理委員会 6 回開催
- ② 安全リーダー会議 1 回開催
- ③ 新入会員のフォローアップ研修に際し、財団発行の「安全のしおり」を活用、安全就業の指導を行った。
- ④ センター主催の技能研修に合わせ安全講習会を実施した。
- ⑤ 安全管理委員会単独の研修会として、上記 5 研修・講習 (1) 事業関係研修・講習のとおり「自転車安全講習会」「自動車安全運転講習会」「安全リーダー研修」を実施した。
- ⑥ 安全朝礼を毎月月初に開催した。
- ⑦ 安全強化月間を 4 月、7 月、11 月に実施し、安全就業の徹底を図った。
- ⑧ 平成 27 年度の死亡事故を風化させないため、11 月 20 日に「271120・安全宣言・安全はすべてに優先する」をスローガンにし、朝礼を行い安全意識の高揚を図った。
- ⑨ 安全就業の徹底を図るため、傷害事故等の現場を巡回し、聞き取り調査を実施。事故の分析、対策を検討し事故の再発防止に努めた。
- ⑩ 安全管理委員、理事による安全巡回パトロールを毎月一回実施し、安全就業の指導を行った。
- ⑪ 「安全管理委員会だより」を毎月一回発行し、会員個々による安全意識の高揚に努めた。

⑫ 会員の健康管理として、市で実施する市民健康診査並びに東海大学八王子病院健康管理センターとの連携による人間ドックの受診を積極的に呼びかけ、会員自らの健康管理の重要性を周知した。

⑬ 就業会員を対象に、会員自ら年間の安全健康計画を立てその計画が実践されているかを確認できる報告書を作成し、年度末に提出するように義務付け会員個々の就業の安全と健康管理に対する意識の高揚に努めた。

(2) 長期就業の適正化及び80歳以上就業会員の安全就業に対する面談

就業の適正・公平・安全を確保し、全ての会員が能力に応じて分かち合いの精神のもと、公平に働く機会を得られるように長期就業の適正化について理事会で検討した。

その結果、公共の契約を中心に13箇所の18名交代者を決定。未就業会員149名に対し就業募集案内を通知した。この募集による就業希望者は21名であった。公平な選考を図るため、理事により希望者に対し面接を行い理事会において選考し交代者の決定を行った。

80歳以上就業会員の安全就業に対する面談を理事が実施し、53名の会員に対し安全の確認を行った。

(3) 女性委員会活動

女性会員の活性化並びに増強を図るため以下の活動を行った。

- ① 女性委員会 4回開催
- ② 女性委員会の活動状況をセンター「会報」掲載。「女性委員会通信（年4回）」発行し活動の周知を図った。
- ③ 定時総会時に女性委員会主催による「認知症サポートについて」の講演を開催した。

④ 女性委員会活動報告

活動内容	開催日	場所	参加人数
女性会員交流会	平成29年5月8日(月)	岩倉温泉 司翠館	25名
定時総会講演会 「認知症サポート について」	平成29年6月14日(水)	秋川キララホール	172名
除草ボランティア	平成29年6月5日(月) 平成29年9月25日(月)	センター敷地内	18名 26名
福祉施設除草 ボランティア	平成29年7月7日(金)	公立阿伎留医療センター	25名
男性料理教室	平成29年11月24日(金)	中央公民館実習室	20名
女性料理教室	平成30年3月9日(金)	中央公民館実習室	20名
カルチャー教室 (編み物教室)	毎月4回(火曜日)	センター作業場	常時12名

カルチャー教室 (体操教室)	毎月4回(水曜日)	センター2階会議室	常時5名
-------------------	-----------	-----------	------

(4) 社会奉仕活動

地域社会において健康に働けることを感謝し、また、生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために以下の社会奉仕活動を行った。

活動内容	開催日	場所	参加人数
社会奉仕デー	平成29年5月16日(火)	あきる野市役所・秋川駅周辺・武蔵五日市駅周辺・武蔵増戸駅周辺・森の下公園	147名
合奏慰問ボランティア(GGバンド)	平成29年5月22日(月)	デイケアセンター そよ風	3名
地区ボランティア 第2地区 第1-3-4-5地区	平成29年10月4日(水) 雨天中止	秋川駅周辺・水道局から市役所通り	33名

(5) 会員の確保と広報活動

会員確保と広報活動については、以下の事業を行った。

活動内容	内容説明	実施回数
会員入会説明会	60歳以上の高齢者に対しセンターの事業活動を説明、入会を募った。	12回 (毎月1回)
会報「あきる野」の発行	会員及び関連団体に配付。町内会・自治会を通じて回覧、ホームページにも掲載し事業活動の周知を図った。	2回
市広報の活用	市の協力を得て市報に、補習教室・パソコン教室・刃物研ぎ等の開催を広く市民に周知した。	8回
会員によるPR	会員によるPR	随時
	就業開拓委員会を中心に理事によるPRを実施した。	20回
	社会奉仕デー・地区ボランティアに際しのぼり旗によるPRを行った。	2回
	市産業祭に参加し、事業活動並び会員募集のPRを行った。	1回
その他PR	ホームページに会員募集及び事業活動内容を掲載し、PR活動を行った。	常時
	センター所有の自動車にPR用のマグネットを貼り市民へのPR活動を行った。	常時

7 会議

(1) 定時総会 平成29年6月14日(水) 秋川キララホール 1回開催

(2) 常任理事会 12回開催

(3) 理事会	1 2 回開催
(4) 監査会	3 回開催
(5) 就業開拓委員会	6 回開催
(6) 研修委員会	4 回開催
(7) 広報委員会	1 0 回開催
(8) 生きがい事業推進委員会	4 回開催
(9) 女性委員会	4 回開催
(10) 地区会議〔6 地区〕	各 2 回開催
(11) 理事・監事・地区会議	2 回開催
(12) 三役・植木班リーダー会議	2 回開催
(13) 学校施設管理業務合同職群班会議	1 回開催

8 事務局

- (1) 事務局職員はセンターの事業を適正に運営するために、引いては役員・会員のサポート役を担うべく資質の向上に努めた。
- (2) 第 6 ブロックの事務局長会、次長会、職員連絡会（業務 I ・業務 II ・庶務経理）の各会議に出席し、各分野における関連法規、公益法人の運営に関する情報の収集等の研究を行った。
- (3) 財団主催による各種職員研修に参加し、自己能力の研鑽に努めた。